

# 歯科疾患の全身への影響

## 〜人生100年時代を踏まえて〜

### ◆歯周病と全身疾患

数十年前から歯科疾患、特に歯周病と全身疾患に関連がある事が指摘されてきました。歯周病菌やその産生する炎症性物質が体内に侵入し様々な臓器に影響を及ぼします。そのため特に症状がなく

産、早産、敗血症、菌血症など、歯周病菌が血管を介し心臓や脳など全身に運ばれます。これに反応し血管内で慢性的に過剰な生体防御反応が起こり、血管そのものや身体機能に悪影響を及ぼします。

や唾液が嚥下時に誤って気管に入り口腔内細菌が肺内で増殖し炎症を引き起こします。特に高齢者など嚥下機能や抵抗力、免疫力が低下している人にみられます。

知症、歯周病菌のひとつのPg菌が脳内に侵入し炎症を引き起こすことでアミロイドβ（アルツハイマー性認知症の原因物質）が脳内で産生されま

す。アミロイドβが引き起こす。近年先進国では日本だけが3倍に増加しています。男性だけでなく女性や若年者も増加しています。喫煙との関連も推測されます。

詳しくはかかりつけの歯科医院にお尋ねください。

（鶴岡地区歯科医師会）

### ◆歯周病菌や炎症性物質が体内へ侵入

①動脈硬化、狭心症、心筋梗塞、細菌性心内膜炎、脳梗塞、低体重児出

②糖尿病、進行した歯周病により炎症性サイトカイン（TNF-αなど）が過剰に産生され血液を介し全身に広がります。TNF-αはインスリンの働きを阻害し血糖値が下がらず糖尿病は悪化します。逆に歯周病は糖尿病の合併症と考えられ、糖尿病によっても歯周病が悪化します。

③誤嚥性肺炎、食べ物

## 歯と口の健康週間

（6月4〜10日）

### 歯の定期検診を受ければよかった

55〜74歳  
後悔  
第1位  
283pt

第2位	スポーツなどで体を鍛えればよかった	244pt
第3位	日頃からよく歩けばよかった	234pt
第4位	腹八分目を守り、暴飲暴食をしなければよかった	210pt
第5位	間食を控えればよかった	167pt
第6位	頭髪の手入れをすればよかった	150pt
第7位	たばこをやめればよかった	122pt

出典：gooリサーチとプレジデント編集部の共同調査により、「人生の振り返り」に関するアンケート 2012.9.25〜27 55〜74歳の男女1060名の回答より